

連携校共通インテンシブコース  
国際医療福祉大学責任コース

8/31  
登録期限

受講料  
無料

9月開講 3コース 受講生募集中

本3コース(下記①から③)では、主にVODによるオンデマンドの授業により、各コースにおいて次の人材を養成することを目的としています。

- ①「腫瘍循環器学」「腫瘍腎臓病学」「老年腫瘍学」のオンコロジストを！
- ②「遺伝」という「宿命」と戦う人のサポートを！
- ③「がんサバイバー」のサポートを！

**対象:**がん治療にかかる医療従事者、連携7大学及びその関連病院の教職員、大学院生等

**受講方法:**1. 東京医科歯科大学「Forms」 <https://forms.office.com/r/e1DSTgqkzF> から受講登録

2. 下記②③コースは 上記「Forms」 + 右記「QRコード」から受講登録

**登録期限:**2024年8月31日(土)



①がん学際領域の  
医療者養成コース (VOD)

コース責任者：田村雄一先生

東京医科歯科大学および連携大学の循環器専門医・腎臓専門医・老年内科専門医が中心となり、学内外の各分野の専門家による指導を行う。

腫瘍循環器学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学などのがん学際領域の発展に貢献できる人材の養成を目的とする。



②がん予防を推進する  
遺伝医療職育成コース

(VOD+実習) コース責任者：西垣昌和先生  
※定員10名程度 (実習のため)

がん発症の遺伝的ハイリスクにある患者やその家族が、予防医療を受けるにあたって生じる、身体的課題、心理社会的課題、倫理的課題に対応について実践する。本コースを修了するには「がん予防カウンセリング学」「がん予防カウンセリング学実習」「予防医学総論」(以上必修)の他、「臨床心理学概論」「臨床腫瘍学各論」「がん診療の基礎知識」等から選択し履修が必要。



③がんサバイバーを  
支える多職種医療人  
養成コース (VOD+第8回Zoom)

コース責任者：佐藤真由美先生

1. 次について実施することができる人材の養成を目的とする。  
(1)がんサバイバー・家族の身体的・心理的・社会的問題を理解し、多職種と連携し適切なケアを提供できる。  
(2)がんサバイバー・家族ががんを自己の問題として捉え、がんと共に生活すること、がんの再発を予防する支援を提供出来る。  
2. 連携大学の医師、看護職者、薬剤師、リハビリテーションセラピスト、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、管理栄養士など学内外の専門職が連携して講義等を提供する。

「がんプロ」とは

文部科学省が複数の大学がそれぞれの個性や特色、得意分野を活かしながら相互に連携・補完して教育を活性化し、がん専門医療人養成のための教育拠点を構築することを目的として実施している「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」事業

「連携7大学」とは

東京医科歯科大学を拠点校とする、国際医療福祉大学・慶應義塾大学・順天堂大学・東海大学・東京薬科大学・東京歯科大学

お問い合わせ

国際医療福祉大学大学院 がんプロ事務局 塚田

〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

E-mail: [ganpro-jimukyoku@iuhw.ac.jp](mailto:ganpro-jimukyoku@iuhw.ac.jp)

HP: <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/cancer5/>

※履修上の注意・コース修了要件等詳細につきましては上記がんプロHPをご参照願います。



## ①がん学際領域の医療者養成コース

回	授業題目	担当教員(所属)
1	腫瘍循環器学入門①:腫瘍循環器学的重要性・腫瘍循環器のバイオマーカーについて	田村雄一(国際医療福祉大学)/佐瀬一洋(順天堂大学)
2	腫瘍循環器学入門②:Cancer VTEと抗がん剤に伴う肺高血圧症	田村雄一(国際医療福祉大学)
3	腫瘍循環器学入門③:がん薬物療法に伴う心筋障害と心エコーの評価	田村雄一(国際医療福祉大学)
4	腫瘍循環器学入門④:腫瘍循環器ガイドラインについて	田村雄一(国際医療福祉大学)/矢野真吾(慈恵医科大学)
5	腫瘍循環器学入門⑤:がん治療に伴う虚血性心疾患と不整脈	前嶋康浩(東京医科歯科大学)/白石泰之(慶應義塾大学)
6	腫瘍腎臓病入門①:がん系球体疾患	伊藤純(国際医療福祉大学)
7	腫瘍腎臓病入門②:がん治療・進行と腎機能の評価	内藤省太郎(東京医科歯科大学)
8	腫瘍腎臓病入門③:がん系AKI、抗がん剤の腎毒性	和田健彦(虎ノ門病院)
9	腫瘍腎臓病入門④:がん系CKD、透析患者のがん診療	松原雄(京都大学)
10	腫瘍腎臓病入門⑤:がん系血液浄化療法～透析を行うか?～	鷲田直輝(国際医療福祉大学)
11	老年腫瘍学① 老年腫瘍学入門(疫学、定義、高齢者機能評価)	浜本康夫(慶應義塾大学)
12	老年腫瘍学② 治療方針決定(高齢者機能評価、多職種チーム)	樋口肇(国際医療福祉大学)
13	老年腫瘍学③ 老年腫瘍学における臨床研究	平田賢郎(慶應義塾大学)
14	老年腫瘍学④ 老年腫瘍学におけるガイドライン	松岡歩(国立がん研究センター)
15	老年腫瘍学⑤ 高齢者がん治療における制度(社会的支援、診療加算)	浜本康夫(慶應義塾大学)

## ②がん予防を推進する遺伝医療職育成コース

講義:がん予防カウンセリング学

回	授業題目
1	がん予防カウンセリング概論
2	がんの遺伝的リスク評価
3	がん遺伝的ハイリスク者のリスク管理①:ハイリスク検診
4	がん遺伝的ハイリスク者のリスク管理②:リスク低減介入
5	がん遺伝的ハイリスク者に生じる身体的課題
6	がん遺伝的ハイリスク者に生じる心理社会的課題
7	がん遺伝的ハイリスク者リスク管理におけるELSI
8	遺伝性腫瘍カウンセリング
9	健康行動理論①:個人的・個人内モデル1
10	健康行動理論②:個人的・個人内モデル2
11	健康行動理論③:個人間モデル
12	ライフステージ別カウンセリング
13	ケーススタディ1
14	ケーススタディ2
15	総括

実習:がん予防カウンセリング学実習

回	授業題目
1・2	ロールプレイ実習:リスクへの適応促進 分析・実践
3・4	ロールプレイ実習:受療行動促進 分析・実践
5・6	ロールプレイ実習:受療行動促進 分析・実践
7・8	ロールプレイ実習:家庭内での情報伝達 分析・実践
9・10	ロールプレイ実習:小児例への対応 分析・実践
11-14	検診施設実習
15	総括

※本遺伝医療職育成コースの修了要件として、左記科目以外に本学科目履修が必要となります。詳細はがんプロホームページをご参照願います。

## ③がんサバイバーを支える支える多職種医療人養成コース

回	授業題目	担当教員(所属)
1	がんサバイバーシップ	渡邊 純一郎(順天堂大学)
2	がん治療とお金、がん治療に活用できる社会的支援・制度	細金操(東海大学医学部附属病院)
3	意思決定支援 1 看護師の立場から	野上典子(順天堂大学医学部附属順天堂医院)
4	意思決定支援 2 臨床心理士の立場から	加場美穂(静岡県立がんセンター)
5	就労支援	宮田優子(東京医科歯科大学病院)
6	小児がんサバイバーへの支援	村山志保(国際医療福祉大学)
7	小児がんサバイバー家族への支援	上別府圭子(国際医療福祉大学)
8	AYA世代のがんサバイバー・家族への支援 1	鈴木美穂(マギーズ東京共同代表)
9	AYA世代のがんサバイバー・家族への支援 2	岡田由貴子(京都大学医学部婦人科学産科学教室)
10	がんサバイバー・家族へのメンタルケア	小川朝生(国立がん研究センター東病院)
11	精神疾患をもつがんサバイバーへの支援	竹内崇(東京医科歯科大学)
12	がん診断されたときからの緩和ケア	結束貴臣(国際医療福祉大学成田病院)
13	がん治療と仕事の両立支援	根岸茂登美(藤沢タクシー社長)
14	地域連携 大学病院に勤務する看護師の立場から	宮田優子(東京医科歯科大学病院)
15	疾病予防、病気の早期発見など保健師の立場から	鈴木穂波(国際医療福祉大学熱海病院)
16	アピアランスケア	猪又知子(順天堂大学医学部附属順天堂医院)
17	チーム医療におけるがん薬剤師の役割	鈴木直人(国際医療福祉大学病院)
18	がんのセルフマネジメント	矢ヶ崎香(慶應義塾大学)
19	がん栄養 栄養サポートチームの役割	高村晴美(国際医療福祉大学成田病院)
20	がん看護外来、がん相談	藤咲麻美(国際医療福祉大学三田病院)
21	がんのリハビリテーション 総論	辻哲也(慶應義塾大学)
22	周術期(術前、術後)のリハビリテーション	小西信子(国立がん研究センター東病院)
23	放射線、化学療法中、外来がんリハビリテーション診療	鈴木克喜(静岡県立静岡がんセンター)
24	がん口コモ(骨転移対策含む)	篠田裕介(埼玉医科大学医学部)
25	高齢がん患者とリハビリテーション診療(FIT、UNFIT)	上野順也(国立がん研究センター東病院)
26	緩和ケア主体の時期(進行がん、末期がん)	添田 遼(鶴巻温泉病院)
27	在宅がんリハビリテーション診療(在宅療養中)	島崎寛将(大阪府済生会富田林医療福祉センター)
28	リンパ浮腫、終末期浮腫のケア	山本優一(北福島医療センター)
29	がん運動、運動腫瘍学	田沼明(順天堂大学医学部附属静岡病院)
30	がんの嚥下障害とリハビリテーション診療	安藤牧子(慶應義塾大学大学病院)